

愛犬同伴宿泊規約

1. 予防接種について

- ①1年以内に狂犬病の予防接種を受けている事。
- ②及び、伝染病の混合ワクチン接種を受けている事。
- ③ご事情により①②未接種の場合、獣医師発行による猶予証明書・診断書等のご提出、ならびに別紙の同意書に事前のご署名が必要となります。詳しくはホテルまでお問い合わせ下さいませ。

2. 犬種について

- ①日常的に室内で飼われている室内犬である事。
- ②宿泊可能なペットは、小型犬・中型犬・大型犬に限ります。
※大型犬は受入れ可能なお部屋が限定されます。
- ③超大型犬の宿泊はご遠慮下さい。

3. 滞在中について

- ①人や他の犬への噛み癖など攻撃的な性格、また極端な吠え癖のある愛犬の宿泊はご遠慮下さい。
- ②生理中の愛犬の宿泊はご遠慮下さい。もし滞在中に生理になった場合は、屋外・屋内ドッグランの利用はご遠慮頂き、それ以外の場所では愛犬から目を離さないで下さい。
- ③敷地内（客室、屋外ドッグランを除く）では必ずリード（引き綱）を使用し、不測の事故や他のお客様のご迷惑にならぬよう、十分にお気を付け下さい。
- ④浴室棟や共用の化粧室等、愛犬はお連れ頂けない施設・エリアがございます。
- ⑤愛犬同伴可能な施設毎に定められた注意事項を遵守して下さい。
- ⑥客室内へは愛犬の足を所定の洗い場で洗浄、もしくは濡れタオル等で拭くなどし、綺麗な状態にしてから入室して下さい。
- ⑦トイレのしつけができていないワンちゃんがお泊まりできます。客室内で愛犬が粗相をしてしまった場合、備え付けの清掃備品にて清掃をして頂き、連絡シートにご記入頂くか、内線にてフロントまでお知らせ頂くようご協力下さい。
- ⑧愛犬に起因する施設や家具・備品等の損傷・汚損については、相当額を請求させて頂く場合がございます。
- ⑨客室内に愛犬を残して外出される場合、必ず備え付けのサークルに入れて下さい。
- ⑩客室内で愛犬を長時間に渡り留守番をさせる事はご遠慮下さい。
- ⑪客室内でのシャンプー・ブラッシング等のグルーミングはご遠慮下さい。
- ⑫愛犬に向けた施設・備品・食材等は安全性において十分に配慮しておりますが、ご利用はオーナー様の自己責任とさせていただきます。
- ⑬持ち帰り可能と表記のあるもの以外の備品のお持ち帰りはご遠慮下さい。
- ⑭愛犬の排泄はオーナー様が責任を持って処分して下さい。敷地内には複数箇所、必要なエチケットグッズのご用意がございます。

- ⑮過度の無駄吠えやマウンティング等の行動を起した場合、速やかに制止して下さい。
- ⑯お申し込み内容に虚偽があった場合や、滞在中に本規約に違反された場合は、ご宿泊をお断りする場合がございます。
- ⑰愛犬に起因するお客様同士のトラブルにつきましては、当ホテルでは一切の責任を負いかねます。
- ⑱不測の事態による敷地内での愛犬の怪我・死亡・盗難・逃亡等につきましては、当ホテルの過失による場合を除き、一切の責任を負いかねます。

以上の項目につきまして、全てのお客様と愛犬が「安全・安心」にご滞在頂くため予めご了承くださいませようお願い申し上げます。